

オフィシャル注意事項

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟 競技事業委員会

「オフィシャル責任者」1名は、チームスタッフ(監督・コーチ等)または最上級生が行うこと。
(オフィシャル担当表の責任者欄に氏名と役職を記載すること)

オフィシャルも大事な大会業務です。以下、必ず遵守すること。

① 当該試合の練習開始45分前までに夜間口より入場しオフィシャル担当表1枚を提出すること。

② 不織布マスクを着用し、IDを首から下げ入場すること。

③ オフィシャルが全員揃ったら、競技役員又は理事が点呼をとります。以下注意点(1~9)

- 1.責任者が担当の役割確認をすること。
- 2.携帯電話は試合前に全員分集めること。(人数分集まっているか競技役員が確認します)
- 3.会場内での飲食等は禁止する。(会場内で不織布マスクを外す行為を全て禁止します)
- 4.やむを得ず、水分補給する際は、屋外または観客席から見えない場所に移動すること。
- 5.券売担当2名は、前の試合の第2ピリオド終了までに金庫を受け取り南口へ向かうこと。
その他のオフィシャルは、お客様の邪魔にならないように本部席の横で待機すること。
- 6.会場内において、IDは常に見えるように着用すること。
- 7.練習終了後、オフィシャルはパックを集め両バケツ同じ数量にして本部席後ろに置くこと。
(最終確認として、1人はリンクを1周してパックの有無を確認すること)
- 8.パック拾い係は、アウトオブバウンズのパックを走って取りに行くこと。
- 9.PB係の担当者1名はアウトオブバウンズの際、速やかに審判にパックを手渡すこと。

*以下ゴールジャッジの注意点(A~D)

A.全ピリオド、試合開始前にレフェリーがゴールジャッジに向かって、合図(リンク中央で手を挙げる)を送るので手を上げて合図または赤旗を大きく振ること。

B.試合中はパックがリンク外に出ても拾いに行かないこと。

C.パックがゴールに入ったら(ゴールラインを越える。ライン上はノーゴール)ゴールボタンを押すこと。

もしゴール信号が着かなかつたら赤旗を振ること。(この際、手を入れようがゴールボタンを押すこと)

D.レフェリーがゴールの合図をして本部席に行き報告が終了したら、ゴールボタンを再度押してゴール信号を消すこと。またノーゴールが分かった際は、速やかにゴール信号を消すこと。

*ゴールランプ(赤)は、時計が止まると点灯しません。なので、本部席でタイマーを止める前のゴールした瞬間にボタンを押すことができるよう配置に着いたらゴールスイッチは常に持っていること。

*コロナ対策として

・連盟のダウンコートなどは、使用禁止です。各自で防寒着を準備すること。

またゴールジャッジはレフェリージャージを使用する必要はありません。

・新型コロナウイルス感染防止のための特別ルールについて役員の指示に従って行動すること。